

出 会 い の 森

玉津小学校便り No. 6

(令和6年10月1日発行)

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

体感し 広がる そしてつながる 環境学習

校長 廣瀬 尚美

昨年度は、全国・川サミットの大舞台で6年生が発表する機会をいただきました。発表に向けての学びを進める中で、環境政策課の協力を得て赤野井湾の調査を行うことができました。毎年6年生が行っているカヤック体験では、カヤックに乗って琵琶湖を感じています。赤野井湾調査では、自分たち自身が湖の中に入ることによって実感を持った経験となりました。

今年度も昨年のつながりから、環境政策課のバックアップを受けて赤野井湾調査（琵琶湖環境学習「びわこにざぶ〜ん」）を琵琶湖（赤野井湾）に関する事前学習も含めるなど昨年よりバージョンアップした形で実施できました。子どもたちが感じ、得たことはとても大きかったようです。子どもたちの感想を紹介します。



6年赤野井湾にて

- ・赤野井湾に出たときには、ごみがすごくて大きいごみもあってビックリしました。貝を探していたときまったく見つからなかったけど、地面をさわっていると見つかったけっこう大きめだったのでうれしかったです。人がまず動かないと環境は守っていけないと思うので、ポイ捨てとかなないようにして、環境を大切にしようと思いました。
- ・琵琶湖に実際に入って海そうが足についたときは、ちょっとびっくりしました。あとは、4～5cmぐらいの貝がとれたときは、うれしかったです。底の砂を掘るだけでごみが出てきて、ごみの多さが分かりました。
- ・事前学習で話をきいたとき、琵琶湖のことを大切に思ってるんだなと感じました。私もたくさんの方が努力してきれいにしてくれている琵琶湖を大切に思いつけたいです。
- ・今回調べた場所は、琵琶湖全体から見てほんの少しの部分だったので、全体ではもっとごみが浮いたり沈んだりしていると思います。まずは、身近なところからきれいにしておゴミを減らし、魚や貝、植物に害を与えないようにしたいです。ごみが多くても、貝がたくさんいておどろきました。10年くらい生きてそんな貝もいたのでおもしろかったです。今回で琵琶湖に関する興味がわいてきたので、もっと調べてみたいと思います。
- ・琵琶湖でのポイ捨てをなくすためのポスターや呼びかけでごみをなくして、魚や貝などの生き物が安心してすめるようにしたいです。

また、4年生は、守山市環境センターでの校外学習からのつながりで、野洲川河口部のヨシ帯再生プロジェクトに協力することになりました。校外学習のときに製作したヨシポット（ヨシを原料にした植木鉢）でヨシ苗を育て、それを野洲川河口部に移植するそうです。現在は、学校でヨシ苗を育て、11月下旬に野洲川に移植します。子どもたちは自分たちの活動が、生き物がすみやすくなる環境につながるととてもやりがいを感じています。



4年ヨシ苗づくり

赤野井湾は、水質悪化や外来植物の大量繁茂などの危機的な状況から、対策が講じられたおかげで再生しました。学校では身近な環境を守る意識を育てていきたいと思っています。

4月に6年生で実施した学力・学習状況調査の結果をお伝えいたします。

国語科では、既習漢字の書き取り問題で、細かい部分の書き間違いや覚え間違いが見られました。また、文章の読み取りについては、内容を理解し、読み取る力は比較的身についていますが、その内容を記述する際に、条件がついたり、自分の意見を加えたりする必要があると書くことが難しい傾向がみられました。

算数科でも、同様の傾向があり、基礎的な計算の間違いや、記述式問題においては内容を最後まで読み切り、細かい部分を見落とさずに取り組む課題や条件をもとに自分の考えを書く課題で苦手さがみられました。

全体的に概ね内容を理解し解答できていましたが、弱さの見られた部分については、どのような力をつけていくべきか検討し、取組を進めていこうと考えています。

二学期から次の2点の取組を行います。全校で共通の取組を進めながら、授業において、基礎基本の定着やノートの記述、まとめ方の工夫を行います。

① **できるんじゃーノート(自主学习ノート)の取組**3年生以上
できるんじゃーあのねノート1、2年生(10月から実施)

今までから取り組んできた自主学习ノートとあのねノートですが、自分の考えや気持ちをまとめるといった書く活動の充実のため、ノート学習の取組を行います。全校でお手本となるノートについては掲示も考えています。

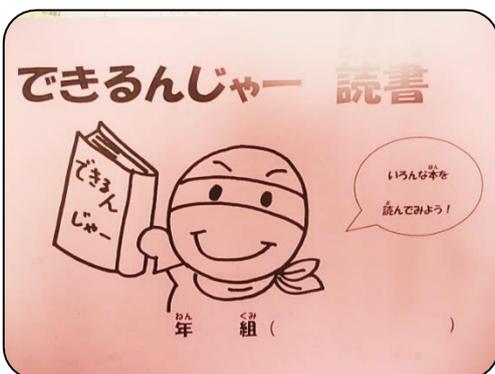
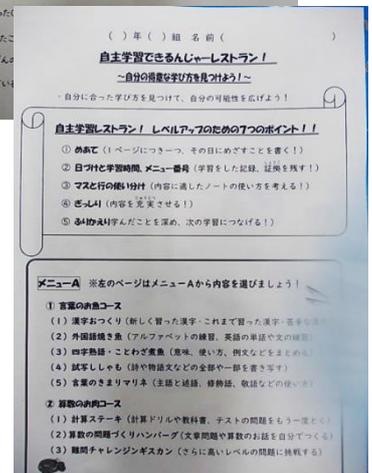
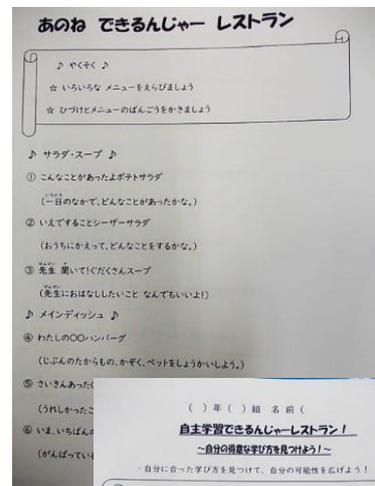
※楽しんで取り組めるようにレストランのメニュー風にしていきます。

② **できるんじゃー読書(読書貯金)**(9月から実施)

上学年:ページ数を記入する読書カード

下学年:冊数を記入する読書カード

児童質問紙調査では、本校の傾向として普段から SNS や動画視聴を行っている時間が全国より2, 3倍多いことがみえてきました。これらの時間を少しでも本に親しむ時間に充てられるように、読書活動を推進していこうと考えて



います。ご家庭で読んだ本も記録できますので、ぜひ一緒に読書を楽しんでみてください。

その他には、自尊感情が十分に育っていないといった課題がみられました。(自分によいところがありますか? 全国 84.1%本校64. 6%)

子どもたちの自尊感情が高まるように声かけや活動を仕組んでいきたいと考えています。今後もご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。